



## ご挨拶

つるぎ会館の大窓から見える風景は、もうすっかり初夏の雰囲気です。青葉若葉の勢いを感じる大徳山。麓の田には水が張られ、苗が植わり、ツバメが飛び交っています。夕刻ともなるとカエルの合唱が始まります。また、夜には、蛍の舞いに見とれることがあります。弊社つるぎ会館がオープンして一年がたちました。多くの方にご利用頂き、心より御礼申し上げます。(スタッフ一同)

## 季節

六月ですが、鯉のぼりがまだ泳いでいますので、節句に関するお話を・・・鳥取に行く途中、「カフェ大福」の美味しい和菓子屋さんがあります。わざわざ出掛ける値打ちがあるほど美味しいのです。二月あたりから「いちご大福」が出始めます。これも人気商品でお昼からだと売り切れの時があります。五月は「粽(ちまき)」がよく売れるそうです。端午の節句には欠かせない粽ですが、当地方は粽より、柏餅、さらに言うと山帰来の葉で包む『さんきら餅』が一般的ですね。柏餅は日本のオリジナルで、粽は中国大陸の食べ物です。関西には柏の葉が生息しにくいのでサルトリイバラ(山帰来)の葉を使うのではないかと言われています。柏の葉は新芽が出ないと古い葉が落ちない。子供が産まれるまで親は死なない家系が絶えない・・・ことから使われるようになったという事です。子孫繁栄を願う気持ちで、葉っぱ一枚にこめられているのです。



## スタッフから

## おそうじ力

つるぎ会館ができて一年が経ちました。

「建物は古くなるが、きれいに保つことが大切」「完成時より美しく」がわが社の、モットーです。

そう、合言葉は「おそうじ力」。その合言葉のもと、社員一同、両手に雑巾とほうきを持ち、かけまわっています。

そうじは、得意のはずの女性陣ですが、男性社員の徹底ぶりに脱帽しながら、せつせと、勤しんでいます。

“清められた空間”で儀式をしていただくため、日々頑張っております。これからの季節、建物のまわりの鳥虫との格闘が始まります。(田中)



# 花物語

ああ、今日も美しいな。と思うのです。

「今日も綺麗ですね。」「美しいですよね。」生花祭壇の仕上がりに女性スタッフから必ずこの言葉が出ます。毎回違う曲線のアレンジと、季節や彩りを考えて作られる祭壇は本当に美しいのです。

故人のお好きだった花や、好まれた色を、出来る限り使いますが、その花を選ぶに当たってのタブーは無いのです。

二十歳のお嬢様を亡くされたご両親は『向日葵』をご希望されました。その祭壇に喜んで頂き、『生花祭壇へのこだわり』に自信が持てたのです。

もうひとつの『花物語』  
会館の玄関や水廻りにいける花は、女性スタッフの一人が野山の花を摘んで来ます。今は、『一人静』と『山帰来』がそっと迎えてくれます。



# 音楽



最近、有名なミュージシャンの『音楽葬』が話題になりました。

会館葬での音選び一般的には、いわゆるヒーリングミュージックやクラシックが使われる事が多いようです。しかし、つるぎ会館では、それだけでなく、和楽器や民俗楽器の音楽も使っています。葬儀の邪魔にならない音楽が、意外に多いジャンルです。世界中には数限りない音楽があり、私達の知らない音楽の方が多いのでしょうか。そういうわけで、音探しはまだまだ続きます。喫茶店で(あっ)と思ったBGMに出会うと、ためらうことなくマスターに尋ねます。知り合いから『おすすめ』の情報が届くこともあります。葬儀開始までの時間に、よく流れているのは、瞑想のピアニスト、ウォン・ウインツァンの「九寨沟」。これは、大学時代の恩師からのお勧めCDです。

ご家族の方に「お別れの時、故人の思い出の音楽を流して欲しい」とCDに何曲か入れてお持ち頂いたことがあります。最後のお別れにふさわしい、素敵な曲でした。花だけでなく音楽のご要望もお聞きしております。

# 企画

女性スタッフで、皆様に気軽に会館に足を運んでいただけるよう、ない知恵を絞っています。この静かで、ゆったりとした時の流れる空間を、何らかの形でご提供できたらと思っております。準備が整い次第お知らせいたします。どうか「会員にならされるのではないかと警戒なさらず(勧誘は一切致しません)お越しいただきたいと思っております。

# 編集後記

「何か出来ないかなあ。」スタートはここからでした。『スタッフからむ』にあるように掃除は、大切な仕事の一つです。でも、葬儀のない時、気軽にお茶を飲んで頂いたり、ゆつくり本を読んだり、音楽を聴いたりして貰える空間を作り、それを仕事の一つにしたい。その足がかりとして、スタッフ手作りのニューズレターを発行することにしました。時間に追われながら、何とか一号を発行する事が出来ました。鯉のぼりを見て食べ物  
を連想するなんて・・・と、笑われながら柏餅の話も強引にもってききました。お手元に届く頃は、空に鯉が泳いでいないかもしれませんね。おゆるし下さい。(も)

